

## 御議論いただきたい事項（抜粋）

## (5) 労働者のキャリアアップや処遇の向上につながる労働市場の基盤整備のための方策

- 企業内外の労働市場において、配置転換や労働移動がキャリアアップや処遇の改善を伴うようにするため、どのような取組が必要か。特に、企業が求める職務・スキルと労働者が有するスキルの双方の見える化を促進するために、どのような取組が必要か。それらの情報が労働者の職業生活を通じて活用できるようにするためには、どのような取組が必要か。
- 産業・職種・地域間の労働力需給のミスマッチの減少を図りつつ、キャリアアップや処遇の改善を実現するためには、公的職業訓練やキャリア形成支援等どのような取組・支援が求められるか。
- 特に、現状、スキルアップの機会が十分ではない中小企業や非正規雇用労働者などに対して、どのような取組が効果的か。

- 人材開発の基盤整備として労働市場における職務・スキル等が見える化することが重要であり、検定や情報提供ツールの整備が進められているところであるが、これらの基盤を活用して各企業が社内の職務・スキルが見える化し、人材育成を推進するためにはどのような取組が必要か。
- 特に、人事部門の人員の少ない中小企業において、人材開発の基盤を活用した社内の職務・スキル等の見える化を進める取組を支援する方策としてどのようなものが考えられるか。
- 個人が労働市場やキャリア形成に関する情報を蓄積・活用していくために、どのような支援が必要か。
- 企業が人材開発投資により力を入れること、効果的な訓練を実施するための環境を整備することを促進するために、どのような方策が考えられるか。
- 民間教育訓練機関、公共職業訓練等により提供される職業訓練が、企業・地域・個人のニーズにより一層応えていくために、どのような方策が考えられるか。